

平成26年度 宇都宮市子ども・子育て会議「第1回ひとり親部会」議事内容(概要)

1 協議内容

○「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の改定に伴う、ひとり親家庭の現状・ニーズ・課題について

「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の基本施策7「ひとり親家庭等の自立に向けた支援の充実」について、ひとり親家庭を取り巻く社会状況や国・本市の支援策、進捗状況、ニーズ調査結果等を踏まえ、課題の詳細を協議した。

2 事務局説明

(1) 子ども・子育て会議における課題の総括

- ・ 7月1日の本会にて総括された「ひとり親家庭等の自立に向けた支援の充実」の3つの課題（下記課題(1)～(3)）を再確認する。

(2) ひとり親家庭を取り巻く社会状況及び国・本市の支援策、進捗状況について

- ・ ひとり親家庭は全国的にも本市においても増加傾向にある。
- ・ 国のひとり親家庭支援策は、戦後の死別母子家庭対策から始まり、福祉資金貸付や現金支給制度が創設され、平成15年に、「手当中心から就業・自立に向けた総合的な支援」へと転換し、最近では、父子家庭への拡大や施策の財源の安定化が行われている。
- ・ 本市においては、昭和44年以降市単独手当等の支給や医療費助成、福祉資金貸付に加え、国の支援制度や関係機関の事業の活用により、就業・自立に向けた総合的な支援を行っている。

(3) 「ひとり親家庭等の自立に向けた支援の充実」3つの課題の総括

- ・ 本会で抽出された「ひとり親家庭等の自立に向けた支援の充実」3つの課題について、ニーズ調査の結果等を踏まえ、次のとおり課題を掘り下げた事務局案を説明。

課題(1) ひとり親家庭の生活基盤の安定のための「就労支援」の充実

- ① 早期の就労に結びつく支援
- ② 就労に有効なスキル・資格取得の支援
- ③ マッチング支援

課題(2) ひとり親家庭の子育てと仕事の両立のための「子育てや生活面での支援」の充実

- ① 子どもの成長に合わせた生活面での支援
- ② 就職活動時や就労時等の子育て支援

課題(3) ひとり親家庭への支援策の利用促進のための相談機能の充実や情報提供等の取組の推進

- ① 総合的に相談できる場所の整備
- ② 様々な場面での情報提供

3 会議の結果

事務局の案について了承した。なお、議論の中で、次のような意見が出された。

- 市の単独手当について、創設後約40年の間、社会状況は変わり、自立に向けた総合的な支援に転換されている中、現在、効果があるのかどうか考える必要がある。
- ひとり親家庭となった後、一定の収入を得るまで3年から5年を要しているという現状を踏まえ、その期間の支援を充実・強化することが重要と考える。手当の見直しを含め、就労・子育て支援等、状況に応じた支援に重点化した方が良いと思う。
- ひとり親家庭が増加している一方で、本市の支援策の取組状況について、利用件数が横ばいまたは減少しているのには、何か理由があるのではないかとと思われる。事業が使いづらい、又は十分知られていない等の点について、どう改善すべきかを考える必要がある。
- 子の預かりについて、保育園から就学後留守家庭児童会になることで急に負担が増えることもあるため、就学後の負担を考慮し、就学の前と後において切れ目のない支援が必要である。
- ひとり親家庭の中には情報を得る手段が全くなく、情報が届いていない人もいる。ひとり親家庭の置かれた実態を把握した上で、支援策をまとめて発信することや、地区毎に情報が得られるようであると良いと思う。